

学校運営協議会（第3回）議事録

校名	府立泉北高等支援学校
校長名	池田 かおり

開催日時	令和6年2月22日（木）15:30~17:00
開催場所	大阪府立泉北高等支援学校 集会室
出席者（委員）	中島 康明（会長） 早川 泰史（副会長） 魚住 敦子（委員） * 樋上委員、徳委員、高本委員は欠席。協議事項については事前に意見集約済み。
出席者（学校）	池田 かおり（校長） 前田 優（教頭） 百田 千代（首席） 米田 拓朗（首席） 上野 浩嗣（教務部長） 河上 万樹子（進路指導部長） 緒方 美香（研究研修部長・指導教諭） 河村 真司（生徒指導部長） 伊東 みずき（環境保健部長） 境 翔太（情報文化部長） 奥田 芳郎（1年学年主任） 井本 真（2年学年主任）
傍聴者	なし
協議資料	委員会名簿 令和5年度学校経営計画及び学校評価 令和5年度学校教育自己診断集計結果 令和6年度学校経営計画及び学校評価
備考	なし

議題等（次第順）
<p>(1) 諸連絡（配付物の確認、次第の確認、傍聴者の確認、意見箱について）</p> <p>(2) 学校長挨拶</p> <p>(3) 会長挨拶</p> <p>(4) 令和5年度学校経営計画及び学校評価について</p> <p>(5) 令和6年度の学校経営計画について</p> <p>(6) 協議及びまとめ</p> <p>(7) 連絡事項</p>
協議内容・承認事項（説明・意見の概要）
<p>(1) 諸連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配付物の確認 ※協議資料参考</li> <li>・ 次第の確認 ※次第順通り</li> <li>・ 傍聴者の確認             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 傍聴者なし</li> </ul> </li> <li>・ 意見箱について             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 投書なし</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 学校長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 今年度の学校経営計画及び学校評価と次年度の学校経営計画についてご意見等を頂戴したい。</li> </ul> <p>(3) 会長挨拶</p>

(4) 令和5年度学校経営計画及び学校評価について

別紙「令和5年度学校経営計画及び学校評価」を基に、学校長より説明。

(5) 令和6年度学校経営計画について

別紙「令和6年度学校経営計画(案)」を基に、学校長より説明。協議の結果、次年度の「めざす学校像」と「中期の目標」、「本年度の取組内容及び自己評価」について承認が得られた。

(6) 協議及びまとめ

【令和5年度学校経営計画及び学校評価について】

- ・教職員対象の学校教育自己診断結果をみると、教職員間の情報共有に十分時間を取れていないのではないかと懸念するが、どうか？
  - 多忙な状況ではあるが、必要な会議や打ち合わせは時間を取って実施している。次年度は、さらに会議日程の整理等を行うことで情報共有のための時間確保に努めたい。
- ・教職員対象の学校教育自己診断にある人材育成の項目をみると、肯定的回答率が高いとは言えない。研修形態等に工夫が必要ではないか？
  - 次年度は、それぞれの研修が教職員のどの専門性向上をねらって実施するのかを、年度初めに明示してから取り組みたい。研修形態もワークショップを取り入れる等、対話型の研修を中心としたい。
- ・教職員と保護者対象の学校教育自己診断結果が、前年度との比較で割合が上がっているものが多くあるように思える。生徒対象の項目で評価の割合が下がっているものについては、丁寧に分析して改善することがよい。
- ・生徒対象の学校教育自己診断結果では、交流に関する項目の肯定的回答率が低い状態であることから、次年度は地域との交流の機会を増やす等、検討できないか？
  - コロナ禍を経て、今年度、堺西高等学校との授業交流を年2回実施した。次年度も引き続き実施予定である。また、区役所等と連携した販売実習を企画・実施予定。次年度の学校経営計画に盛り込んでいる。
- ・教職員と生徒・保護者では、「いじめへの取組み」に関する項目について、肯定的回答率に乖離がある。「わからない」と回答した3割も含めて具体的なイメージを持てるよう、例えば、いじめ防止基本方針等を保護者に発信する際、事案が生じた時に学校はどのように組織的な対応をするのかという点が伝わるよう配慮することが必要ではないか？

【令和6年度学校経営計画について】

- ・教職員の専門性向上のために研修はよい機会であるが、働き方改革の観点から実施時期や時間設定等については、引き続き工夫をお願いしたい。
- ・円滑な業務遂行のためには、業務の分担と併せて、引き継ぎマニュアルの作成を関係教職員間で進めることも有効ではないかと考える。
- ・働き方改革により行事等をなくすことも一つの方法ではあるが、PTで協議する際は、それぞれの行事の意義、目的を根本から話し合うことから始め、精選していくのがよいと考える。

(7) 連絡事項

- ・次年度の学校運営協議会の日程等について